

平成28年10月3日号(No.168)

「やる気はどこから」

伊丹市立総合教育センター

所長 後藤 猛虎

東京都小学校道徳教育研究会が、自己肯定感や活動意欲などにつながる「心の活力」に関して、児童・教師を対象にした調査結果(2015.1.26)をまとめました。それによると、児童のやる気について、教師の約5割が「褒めたり、認めたりすること」を大切にするにより出る。一方、児童の約5割からは、やる気は「好きなことをするとき」「目標があるとき」に出るものと、その認識に違いがあることがわかりました。この調査からわかることは、子どもにやる気をもたせるには、褒めることも大事ですが、まず興味・関心や目標をもたせることを優先した方が良いことになるようです。



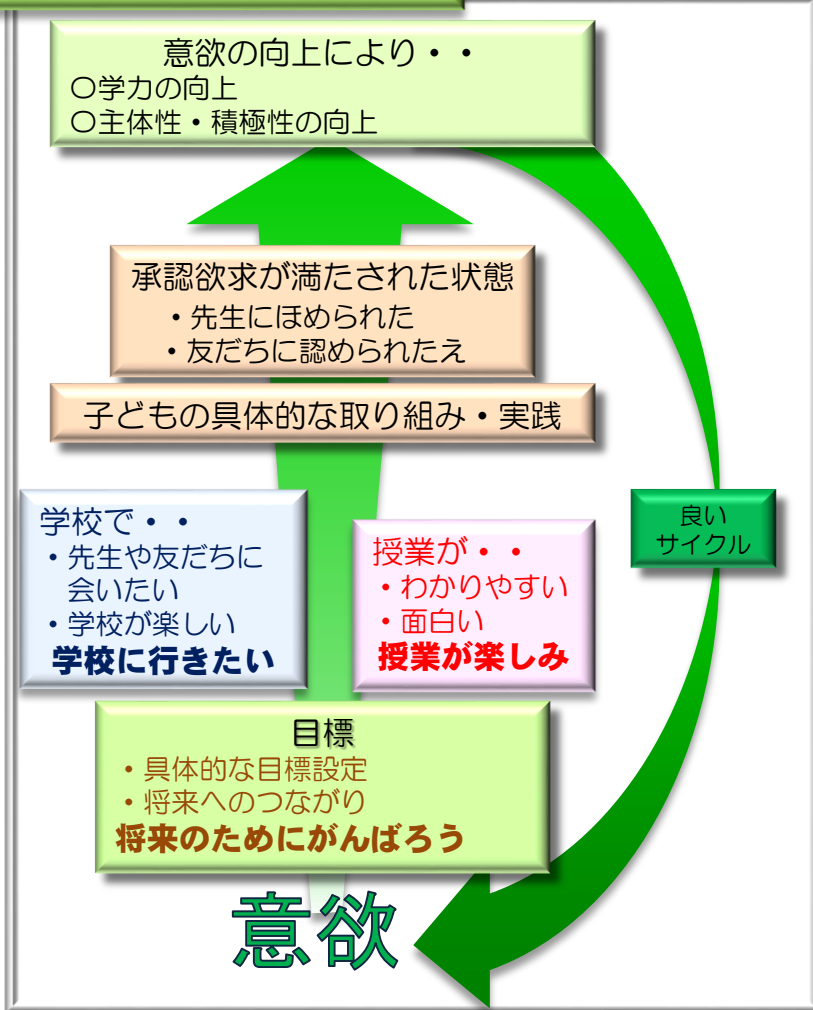
さて、現行の学習指導要領においては、学習意欲の向上がキーワードになっています。では、学習へのやる気をもたせるには、どうしたらよいのでしょうか。学習指導要領によると、「個に応じた指導の充実によりわかる喜びを実感したり、観察・実験やレポートの作成、論述などの体験的な学習や知識・技能の活用を図る学習活動、職業や自己の将来に関する学習などを通し学ぶ意義を認識したりすること」で、学習意欲を高めるよう求めています。学校でも、意欲を高めるために様々な取り組みをしています。しかし、子どもたちの学習への意欲がなかなか上がらないのが現状のようです。中には、学習から逃避する子どももいます。

最近、「なぜ学ばなければならないのか」という学ぶ意義や動機を小学生からしっかり教えることが大事だとよく耳にします。どうも、そこに学習意欲を高めるヒントがあるように思います。学習への意義・動機づけが、学習に取り組む際の興味・関心や目標に繋がるからです。学習への動機は、「電車が大好きで運転手になるために勉強する」「医者になって人を助けるために勉強する」のように、自分のためや社会のためなど様々であり、正解はありません。しかし、子どもたちは、学ぶ意義や動機が明らかになり納得すれば、そのために何かをしよう(意欲)と行動に移すのだと思います。学習する意義・動機をしっかり考えさせることが大切なのだと思います。

子どもの意欲を高めるために ~学校生活や授業を通して~

これからの教育活動において、アクティブ・ラーニングや情報教育が重視されていますが、共通しているのは「子どもの意欲を高める」ことです。学校生活や授業の様々な場面で、子どもたちが意欲をもって取り組めるかが、今後の成長に大きく関わってきます。「子どもの意欲を高める」ポイントについて知り、指導に活かしていきましょう。

子どもの意欲向上の概念図



学校生活や授業の中で共通して子どもの意欲が高まる時 先生にほめられた時 友だちに認められた時

教師がほめるポイント

- ☆**成長**
以前に比べ、子どもが成長した部分をほめる。
- ☆**努力**
結果として上手いかなくても、運動や学習の反復練習、苦手なことにチャレンジする精神、上手いように考えを重ねる行為、といった努力をほめる。
- 結果**
優れた結果を出したことをほめる。
- 能力**
子どもが今までの経験によって身につけている能力をほめる。

子どもに「認められた」と感じさせるポイント

- 子どもの意見に対して、よかった部分をほめる**教師の声かけ**
- 友だちの**良いところ**を見つけ合える、お互いに**認め合える**といった、クラスの雰囲気作り
- 話し合いや発表等、**自分の意見を伝える場の設定**
- 子どもの成果物への、**友だちや教師のコメント**

学校生活の中で子どもの意欲が高まる時

教師との関係が良好な時 友だちとの関係が良好な時

教師が子どもと良好な関係を作るポイント

- 指導の視点
子どものミスや子ども同士のトラブルを指導する時、「**誰が悪い**」のかではなく、「**何が悪い**」のかを指導し、理解させる。
- 子どもと関わる
話を聞いたり、一緒に遊んだりすることで、子どもとの関係性が生まれ、悩みやトラブルがあった場合すぐに対処できる。
- 教師自身の態度
「**誰に対しても公平**」「**教師自身が見本を示す**」という態度が子どもたちからの信頼につながる。

子ども同士の関係を作らせるポイント

- 交流を深める時間の設定
「行事の計画」「学級の決まりづくり」「休み時間の全員遊び」等、**友だちと話し合ったり遊んだりする時間を意図的に作り出す**ことで、関係性の広がりにつなげる。
- 教師自身の態度
「教師の**前向きな発言**」「**悪い所ではなく良い所を見つける**といった視点」が**子どもたちにも伝わり**、よりよい関係性の構築につながる。

授業を通して子どもの意欲が高まる時

学習がわかった時 学習の面白さを感じた時

学習をわからせるためのポイント

- 単元を通して**一貫性を持った授業計画**
- 何を学ぶのかを示す「**めあて**」の設定
- 子どもの実態**に合わせた「**スモールステップ**」の授業
- 「**ICT**」を活用する等、**視覚的、聴覚的に工夫**をした授業
- 何を学んだのかを「**振り返る**」時間の設定
- 過去の学習で**理解が不足している部分の補充学習**の時間の設定

学習の面白さを感じさせるポイント

- 子どもが授業に**期待感**を持てるような導入の工夫
- 子どもが**主体的に取り組めるような発問・授業構成**
- 自分と友だちの**考えを比べたり**、よりよい答えを出すために**協議したり**といった場の設定
- 子どもが**興味関心**を持っていたり、**流行の話題**を取り入れたりといった**例**の出し方

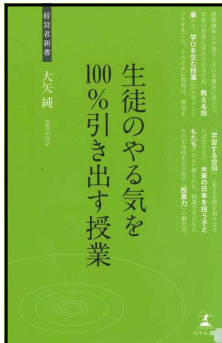
目標設定のポイント

- 学校生活、学習において・・・
- 何のためにするのか**
 - 将来へどうつながるのか**
 - どこまですればよいのか
 - いつまでにすればよいのか
 - どのようにすればよいのか

※**明確に示す**ことで、**子どもの迷いがなくなり、集中して取り組める**→意欲の向上につながる

総合教育センター図書紹介

総合教育センターの図書の中から、「子どもの意欲を高める」をテーマにした、いくつかの書籍を紹介します。



「生徒のやる気を
100%引き出す授業」

著者：大矢 純

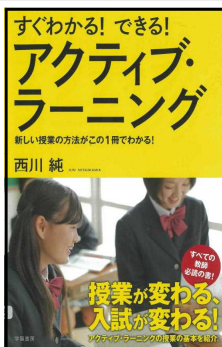
自信を持っていない子どもたちの現状と理由、そういった子どもたちの「やる気」を、授業を通して引き出す手法について詳しく書かれています。



「学級づくり・授業づくり
成功の極意」

著者：教師みらいプロジェクト

経験を積んだ教師13人が、自身の失敗談を元に学級づくり・授業づくりのポイントについて、事例を元に分かりやすくまとめています。



「すぐわかる！できる！
アクティブ・ラーニング」

著者：西川 純

アクティブ・ラーニングとは何か、授業イメージはどのようなもので、どう有効なのか。新しくアクティブ・ラーニングを学ぶ人にお勧めの1冊です。



「〈やる気〉を引き出す・
〈やる気〉を育てる」

責任編集：梶田 亰一
編集：人間教育研究協議会

教育心理学や教育理論、授業実践等、教育に関する様々な分野から、〈やる気〉についてまとめています。〈やる気〉の研究を深めたい方はぜひお読みください。

鴻池小学校に冒険教育施設がオープンしました!

伊丹市教育委員会では、**自尊感情**や**課題解決力**を育み、仲間づくりに役立てるため、各中学校区ごとに「**冒険教育施設**」の設置を進めています。

この度、夏季休業中の工事を終え、**鴻池小学校**に冒険教育施設が設置されました。2学期始業式後にオープニングセレモニーを実施し、感謝状贈呈や6年生児童によるデモンストラクションが行われ、全校児童の前でお披露目となりました。



発行 伊丹市立総合教育センター
月～金 9:00～21:00 所在地 〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1番 TEL 072-780-2480 FAX 072-780-2482
土 9:00～17:00
休館日 日曜・祝日、年末・年始 総合教育センターHP <http://www.itami.ed.jp/>